

(1) *Ilybius apicalis* Sharp キベリクロヒメゲンゴロウ

IX.20.1979 武庫川町

(2) *Rhantus pulverosus* Stephens ヒメゲンゴロウ

XI.6.1978 南口2丁目

V.19.1979 武庫川町

VII.20.1979 武庫川町

(3) *Eretes sticticus* Linne ハイイロゲンゴロウ

VII.20.1979 南口2丁目

この当時、電燈に多数飛来したが、その後は余り見かけない。

(4) *Hydaticus bowringi* Clark シマゲンゴロウ

V.20.1983 武庫川町

(5) *Hydaticus grammicus* Germar コシマゲンゴロウ

VII.20.1979 南口2丁目

(6) *Hydaticus rhantoides* Sharp ウスイロシマゲンゴロウ

6. Hydrophilidae ガムシ科

(6) *Sternolophus rufipes* Fabricius ヒメガムシ

V.29.1979 武庫川町

(2) *Hydrochara affinis* Sharp コガムシ

IX.5.1979 武庫川町

ネプトクワガタの採集2例

森田真澄

兵庫県下でネプトクワガタ *Aegus laevicollis* を2例採集しているので報告する。

(1) 4♂., 加古川市上荘町砦、19-VII-1986、森田真澄採集

ヤマナラシ樹幹部の小指の直径程ある穴に潜っていた。(午前11時頃)

(2) 2♂., 神崎郡神崎町福山、16-VI-1987、安保孝子採集

ナラガシワの根際の落葉を掘ると発見できたという。(正午頃)この地のナラガシワ林にはコクワガタ、ミヤマクワガタが多産する。

ヨツボシナガツツハムシ 六甲山系逢山峡に産す

(兵庫県甲虫相資料 . 208)

高橋寿郎

ヨツボシナガツツハムシ *Clytra arida* Weise はやや中型のハムシであり(体長 8.0-11 ミリ)異々円筒状で強い光沢のある黒色を主体に上翅は赤褐色で肩部と中央部との辺に1個宛左右合計4個の黒紋を有するハムシで見方にもよるが大変印象的なハムシであり兵庫県下ではなかなか得られなくなんとか産地を探したいものだと思っていたが最近になって結構たくさんいる種ということがわかってきたのでそれ等を中心に若干の報告をしてみたいと思う。

まずこのハムシを日本で始めて紹介されたのは J.S. Baly 氏でその論文 "Catalogue of the Phytophagous Coleoptera of Japan, with description of the species new to science" (Trans. Ent. Soc. London, 1873-Part. I) の中で (p. 80), *Clythra laeviuscula* Ratzeburg なる学名で Hab., -Hiogo.oak (カシワ) により1頭を得たと云う記録である。即ち神戸産標本で始めて日本から本種が報告されたのである。氏は同時に次の様に追記しておられる

"A. Adams 氏が Chusan で採集したものと同じく A. Adams 氏採集

Vladimir Bay, Mantchuria での採集品も所有する。この種はアジアの北部に分布し、ヨーロッパにも広く分布している"とされている。

1879年には L.v. Heyden 氏が Prof. Dr. Rein の日本での 1874-1875年の採集旅行で得た甲虫をまとめられた論文で (Deut. Ent. Zeit. X X III, 1879, Heft. II, p. 361) 京都から3頭得たと記録された。

1887年の Schönfeldt, H. V. 氏による "Catalog der Coleopteren von Japan mit Anzabe

